



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584 - 81- 3111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	213,990	11.4	10,810	227.8	12,463		8,313	
29年3月期第3四半期	192,107	19.7	3,297	82.8	1,781		59,321	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 25,171百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 58,769百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	59.79	
29年3月期第3四半期	445.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	446,795	293,388	64.5	2,063.06
29年3月期	405,783	260,940	63.2	1,927.53

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 288,247百万円 29年3月期 256,515百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		20.00	35.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	8.8	16,000	124.0	17,000	638.8	11,000		79.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	140,860,557 株	29年3月期	140,860,557 株
30年3月期3Q	1,141,744 株	29年3月期	7,780,695 株
30年3月期3Q	139,043,486 株	29年3月期3Q	133,081,382 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済及び欧州経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しました。国内経済は、設備投資や企業生産が増加するなど回復基調で推移しました。

半導体・電子部品業界の市場は、車載、IoT関連市場の成長に伴い全体としては成長傾向で推移しましたが、パソコン・スマートフォン市場は、一部で持ち直しの兆しが見られたものの、依然として前年対比でマイナス成長が続きました。

自動車業界の排気系部品市場は、新興国を中心とした堅調な自動車販売の継続により、好調に推移しました。

このような情勢のもと、当社におきましては、永続的・安定的な企業成長に向け、「現地・現物・自掛」を基本とした人財育成を中心とした企業体質づくりに取り組んでおります。併せて、電子事業、セラミック事業及び国内関連会社事業と電力事業で構成される「その他事業」を合わせた3つのセグメントによる安定した収益構造を目指し、各事業の競争力強化に取り組んでおります。更には、中長期の成長を支える新たな事業の柱の構築に向け、新製品開発を着実に進めております。具体的には、今年度より新たに4つの開発センターを発足し、新製品の開発及び早期上市に向けた取り組みを開始すると共に、株式会社デンソーと平成29年4月27日付で資本業務提携契約を締結し、次世代の排気システム及び電動化領域において共同研究開発を実施することで、開発に弾みを付けてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,139億90百万円と前年同期に比べ218億83百万円(11.4%)増加しました。営業利益は108億10百万円と前年同期に比べ75億12百万円(227.8%)増加しました。経常利益は124億63百万円(前年同期は17億81百万円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては83億13百万円(前年同期は593億21百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## 電子事業

パソコン用パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場全体は引き続き前年対比でマイナス成長が続いておりますが、新分野及び新規顧客の開拓に努めたことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

スマートフォン・タブレット用小型・薄型基板(CSP)事業におきましては、ファンアウトウエハーレベルパッケージ(FO-WLP)の上市による影響が続いたことにより、前年並みの売上高となりました。

マザーボード・プリント配線板(PWB)事業におきましては、ハイエンドスマートフォンにおいて新たな薄型・高密度配線基板の採用が進展したことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、電子事業の売上高は840億56百万円となり、前年同期比13.3%の増収となりました。同事業の営業利益は、昨年度の事業構造改革による効果もあり、4億45百万円(前年同期は30億86百万円の営業損失)となりました。更なる収益力の強化に向け、従来から当社が強みを持つ最先端分野におけるシェア拡大に加え、パソコン及びスマートフォン領域で培った薄型高密度化技術・品質・開発力で新規顧客の開拓やIoT、車載、データセンターといった新分野への拡大に引き続き積極的に取り組んでまいります。

## セラミック事業

新興国を中心に世界的に自動車市場が堅調に推移したことにより、ディーゼル・パーティキュレート・フィルタ(DPF)及び触媒担体保持・シール材(AFP)共に、売上高は前年同期に比べ増加しました。

NOx浄化用触媒担体（SCR）は、自動車・エネルギー関連向け製品共に堅調に推移したことにより売上高は増加しました。

特殊炭素製品（FGM）は、半導体市場が堅調に成長したことに加え、新技術・新素材主体に拡販を進めた結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上により、セラミック事業の売上高は828億26百万円となり、前年同期に比べ12.7%増加しました。同事業の営業利益は、主力のDPF事業が好調に推移したことなどにより、73億61百万円となり、前年同期に比べ213.1%増加しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、化粧板関連販売部門は、トイレブース向けメラミン化粧板及び不燃化粧板の拡販に努めたことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。また、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅及び賃貸住宅向けの販売が増加したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

建設部門におきましては、法面工事部門及び造園事業部門は、受注は堅調に推移しましたが、工事の完工が翌四半期へずれたことにより、前年同期に比べ売上高は減少しました。

その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売数量は減少しましたが、販売価格の上昇により、前年同期に比べ売上高は増加しました。また、合成樹脂加工部門は、自動車分野並びに精密分野向け発泡樹脂製品の販売数量減により、前年度に比べ売上高は減少しました。

以上により、その他事業の売上高は471億7百万円となり、前年同期に比べ6.1%増加しました。同事業の営業利益は30億74百万円となり、前年同期に比べ26.4%減少しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,181	117,245
受取手形及び売掛金	56,609	59,108
商品及び製品	10,420	13,485
仕掛品	7,452	13,542
原材料及び貯蔵品	15,764	18,950
繰延税金資産	1,918	2,387
その他	8,074	7,585
貸倒引当金	△252	△104
流動資産合計	204,170	232,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,358	68,870
機械装置及び運搬具（純額）	50,830	51,185
土地	19,046	19,984
リース資産（純額）	95	53
建設仮勘定	7,135	9,253
その他（純額）	4,687	5,091
有形固定資産合計	151,152	154,437
無形固定資産		
4,213		3,783
投資その他の資産		
投資有価証券	44,106	54,343
長期貸付金	30	23
繰延税金資産	734	694
その他	1,685	1,580
貸倒引当金	△311	△268
投資その他の資産合計	46,246	56,373
固定資産合計	201,612	214,594
資産合計	405,783	446,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,393	39,818
短期借入金	20,056	20,015
未払金	7,729	13,201
未払法人税等	1,673	3,496
繰延税金負債	10	11
賞与引当金	3,342	1,687
事業構造改革費用引当金	12,812	-
設備関係支払手形	472	877
その他	11,057	14,183
流動負債合計	88,549	93,290
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	10,005	10,000
リース債務	86	61
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	468	584
株式報酬引当金	-	49
繰延税金負債	4,309	7,914
その他	1,355	1,438
固定負債合計	56,294	60,117
負債合計	144,843	153,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	121,091	120,465
自己株式	△18,305	△2,608
株主資本合計	231,518	246,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,987	23,661
繰延ヘッジ損益	639	△121
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	8,210	17,958
その他の包括利益累計額合計	24,997	41,659
非支配株主持分	4,424	5,140
純資産合計	260,940	293,388
負債純資産合計	405,783	446,795

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	192,107	213,990
売上原価	152,268	166,552
売上総利益	39,839	47,438
販売費及び一般管理費	36,541	36,628
営業利益	3,297	10,810
営業外収益		
受取利息	273	362
受取配当金	1,121	927
持分法による投資利益	-	4
為替差益	-	414
その他	636	457
営業外収益合計	2,031	2,167
営業外費用		
支払利息	145	113
株式交付費	-	80
為替差損	1,905	-
休止固定資産減価償却費	4,267	-
その他	791	320
営業外費用合計	7,109	514
経常利益又は経常損失(△)	△1,781	12,463
特別利益		
固定資産売却益	198	88
投資有価証券売却益	-	3
事業構造改革費用引当金戻入額	-	2,704
その他	20	70
特別利益合計	218	2,867
特別損失		
固定資産除却損	435	1,424
減損損失	6	25
災害による損失	-	125
事業構造改革費用	56,096	-
その他	248	36
特別損失合計	56,786	1,611
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,347	13,718
法人税等	796	5,213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,144	8,505
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	191
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59,321	8,313

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,144	8,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,514	7,703
繰延ヘッジ損益	△34	△760
為替換算調整勘定	△4,105	9,723
その他の包括利益合計	375	16,666
四半期包括利益	△58,769	25,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,974	24,975
非支配株主に係る四半期包括利益	205	196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月27日開催の取締役会決議に基づき、株式会社デンソーと資本業務提携契約を締結し、平成29年5月17日に同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分(6,825,900株)を行いました。これにより、利益剰余金が4,059百万円、自己株式が16,059百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金は120,465百万円、自己株式は2,608百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,215	73,480	147,695	44,411	192,107	-	192,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	88	92	3,564	3,657	△3,657	-
計	74,218	73,569	147,787	47,976	195,764	△3,657	192,107
セグメント利益又は損失(△)	△3,086	2,350	△735	4,175	3,439	△142	3,297

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 △142百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

電子セグメントの事業構造改革に伴い、生産設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37,624百万円であります。

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、3,701百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	84,056	82,826	166,883	47,107	213,990	—	213,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	177	179	5,506	5,686	△5,686	—
計	84,059	83,004	167,063	52,613	219,677	△5,686	213,990
セグメント利益	445	7,361	7,807	3,074	10,881	△71	10,810

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △71百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。